



Interview
「住まいの価値」。
目に見える形で残したい。

「住宅性能評価」を取らない人が
いるなんて！信じられません。

不動産業に携わっていますので、「住宅性能表示制度」については家を購入する前から知っていました。ただ普及率までは把握していなかったですね。この取材を受けるまで、現在建築している新築住宅のすべてには、「住宅性能評価」が最初から付いているものだと思っていましたから。住宅全部に付けばいいのに。評価を付けたくない人

も結構いるんですか？もったいないですね。私はこの制度を活用した方が絶対お得だと思いますよ。もちろん我が家は「住宅性能評価」の「設計」と「建設」の2種類を取っています。

「住宅性能表示制度」は現在任意で行われています。評価を受けても受けなくても、それは個人の自由です。この制度を利用しなくても、建築基準法の最低基準はクリアしていることになりす。

メリットたくさん。
まず知ることが大事。

「住宅性能評価」はプラスアルファがたくさんありますよ。手間が省ける点でいえば、「フラット35」や「住宅かし保険」の加入手続きも簡単になります。

我が家の場合、築25年の家をリフォームするか、建て替えるか、住み替えるか、非常に悩みました。結局、高性能の家を建てて長く快適に暮らすことと決め、建て替えるに踏み切りました。

目指したのは高齢になっても住みやすい家。もしかしたら夫婦のいずれかが介護をしなければならぬ時がくるかもしれないけれど、できる限りみんなで快適に暮らしたい。その思いは家に息づいていると思います。



トイレや階段の手すりなど、将来への配慮も備えのひとつです。

快適で安全な暮らしに必要な「構造の安定」、「劣化の軽減」、「維持管理」などはすべて最高の等級を取得。「高齢者等への配慮」は5段階評価の等級3。介護しやすくしやすい家といえます。



Interview
住宅関連の制度は難しい。
信頼できるパートナーは絶対必要。

勉強不足なところは
住まいのプロに任せる。

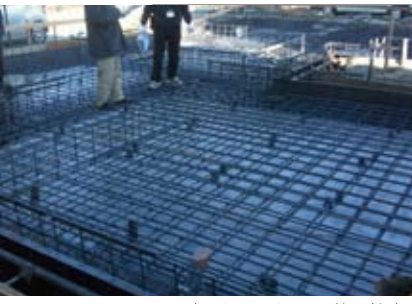
結婚後、市内のアパートに住んでいましたが、主人の実家の隣に土地があったので、いずれはそこに家を建てたいと思っていました。資金を貯めたり、住宅展示場をいろいろ回って自分の住む家のイメージをふくらませたり、準備期間が楽しかったです。子供のためにそろそろ家を...と考えた時、置の部屋はほしい、白いイメージの家にした、階段はこれにしたい、キッチンはオープンにしたいとデザイン面ではいろいろと要望が出せたのですが、住宅関連の制度についてはさっぱりわかりませんでした。

A社さんから説明を聞いて初めてさまざまに制度があることを知ったんです。制度については本当はたくさん説明してもらったのですが、よくわからないし実感がありません。ただA社さんが熱心に説明されていて、聞くほどになるほどなあと感じたのでお任せすることにしました。A社さんは全棟に「住宅性能評価」と「長期優良住宅」を取得されているので、自然とついてきちゃったという感じなのですが(笑)。

「住宅性能評価」と「長期優良住宅」を標準で装備している住宅も増えつつあります。今後の資産価値を考えると、「住宅性能評価」と「長期優良住宅」も取得していた方が有利といえます。

もしかしてウチってスゴイ？
衝撃の出来事。

家を建て始めて、「長期優良住宅」や「住宅性能表示制度」についても知りましたが、さういことなのかな？と思ったのは配筋を見た時です。主人の仕事は土木関係なので現場を見たこと



確かな目による、配筋の検査。

ともあるし、自分でも配筋をしたことがあったので、その時と比べて全然違う！

すこいと言っんです。「家の基礎はすこいぞ！びつちり細かくて！」と驚いていました。専門家が見ればわかることでも、私にとってはふーんそなんだとしか思えなくて。比較するものがないからわかりづらいんですよ。機能面でわかりやすいのは、体感温度かな。今までの家よりも暖かくなるのも早いし、涼しくなるのも早い。一度一定の温度にしてしまつと、そこから冷めない。気密性が高いと聞きました。風が強い地域なので、寒さは感じませんよ。仲間うちで一番早く家を建てたので、参考にさせて...とよく友だちが遊びにきます。白い家は汚れると思われがちですが、掃除がしやすいのでちよつとやれば綺麗になるのがわかるのでやる気ができます。

風が強い地域ということで、耐風等級は最高の等級2を取得されています。構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止が評価されています。



住宅性能評価レーダーチャート

家族構成 夫婦+娘+孫

構造の安定 等級3 (最高3)
火災時の安全 等級3 (最高4)
劣化の軽減 等級3 (最高3)
維持管理・更新への配慮 等級3 (最高3)
空気環境 等級3 (最高3)
高齢者等への配慮 等級3 (最高5)
温熱環境 等級3 (最高4)
音環境: 2(最高3) ※音環境はオプションです。
防犯(1階:住戸の出入口): その他

設計住宅性能評価書

単純開口率は25%以上ですが、方位別開口比は南側が73%以上！

間取図

1階: 玄関、ホール、リビングダイニングキッチン、浴室、和室

2階: 居室、居室、居室、居室、バルコニー

住宅性能評価レーダーチャート

家族構成 夫婦+子供1人

構造の安定 等級3 (最高3)
火災時の安全 等級3 (最高4)
劣化の軽減 等級3 (最高3)
維持管理・更新への配慮 等級3 (最高3)
空気環境 等級3 (最高3)
高齢者等への配慮 等級3 (最高5)
温熱環境 等級3 (最高4)
音環境: 2(最高3) ※音環境はオプションです。
防犯(1階:住戸の出入口): その他

設計住宅性能評価書

白を基調にしたLDKと和室の間仕切りは簡単に解放可能。

中庭からも光が入るため、家中全体が明るい。単純開口比はなんと45%以上！

間取図

1階: 浴室、ホール、吹抜、リビングダイニングキッチン

2階: WIC、バルコニー、居室、居室、居室、居室、バルコニー

住宅性能評価レーダーチャート

構造の安定 等級3 (最高3)
火災時の安全 等級3 (最高4)
劣化の軽減 等級3 (最高3)
維持管理・更新への配慮 等級3 (最高3)
空気環境 等級3 (最高3)
高齢者等への配慮 等級1 (最高5)
温熱環境 等級4 (最高4)
音環境: 2(最高3) ※音環境はオプションです。
防犯(1階:住戸の出入口): その他

設計住宅性能評価書

長期優良住宅認定通知書

建設住宅性能評価書

設計住宅性能評価書